

# ONSA ニュース

No. 26-1

平成 28 年度定時会員総会報告	1
専務理事就任のご挨拶	6
大阪府立大学放射線研究センター開発の「高性能ペルチェ冷却霧箱」の受託販売	6
第 59 回放射線科学研究会聴講記	7
第 62 回 UV/EB 研究会聴講記	13
第 33 回みんなのくらしと放射線展	19

一般社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会  
〒542-0081 大阪市中央区南船場 3-3-27  
TEL: 06-6282-3350, FAX: 06-6282-3351  
e-mail: onsa-ofc@nifty.com  
URL: <http://onsa.g.dg.dg.jp>  
発行: 平成 28 年 6 月

## 平成 28 年度定時会員総会報告

ONSA 事務局長 藪下 延樹

一般社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会（以下、ONSA）は 5 月 26 日（火）大阪大学中之島センターにおいて平成 28 年度 ONSA 定時会員総会を開催致しました。出席できなかった会員各位のために、定時会員総会・ONSA 賞授与式及び交流会の内容を簡単に報告します。

今年度の定時会員総会は ONSA が新公益法人改革制度で「一般社団法人」へ移行後 4 回目の定時会員総会、一般社団法人化の新定款の施行による「会計報告」では 3 回目となりました。新定款の施行・運用による不都合が一部発生したため、移行した 1 回目の定時会員総会に引き続いて、今年度も本定時会員総会で運用しやすいように定款の一部修正案を提出しました。

定時会員総会は、大嶋専務理事の開会宣言を皮切りに、豊松秀己会長の挨拶、本総会の参加者数の確認（全正会員 64 名で委任状を含めて出席者 49 名）と進み、続いて豊松秀己議長の進行で以下の議事が進められました。

報告事項「平成 27 年度事業報告（出納なし）」

- a. 会員数の変動：+2（昨年度実績比 団体会員+1、個人会員+1、賛助会員±0）で、11 年ぶりに下げ止まりを見た。
- b. 広報活動：
  - ・第 32 回「みんなのくらしと放射線展」（関連 9 団体の共催事業）8 月に 2 日間、大阪科学技術センターで開催した。参加者数は 1,166 名（展示場の集計値）であった。
  - ・ONSA ニュース（紙媒体）の発刊 4 回（昨年比±0 回）。電子媒体による速報を 16 回発刊した。
  - ・ONSA ホームページ(HP)の閲覧数 年間約 8,322 件で順調に伸びている。閲覧者数は平均値で、約 22.8 人/日をキープしている。一昨年度から HP システムが向上して、延べ閲覧者数が集計できるようになり、一度 HP に入ると 1 閲覧者が各ページを閲覧するページ数は平均 2.1 ページ、延べ閲覧数は 47.2 ページ/日であった。

- c. 技術研究会等開催事業(ONSA 単独事業):放射線科学研究会 3回、UV/EB 研究会 3回、放射線利用総合シンポジウム 1回、見学会 3回の計 10回、参加者数延べ 296名(昨年度実績比:開催回数+1、参加者数+8名)でほぼ例年通り。
- d. 大阪府立大学コバルト 60 ガンマ線照射業務:大阪府立大学との受託契約に基づき、協会職員延べ 3名(照射業務担当(室長)1名、受付業務担当 延べ 2名)を派遣。
- e. 27年度 ONSA 賞選考発表:
- ・ONSA 賞(応用研究・開発部門) 兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所所長 教授 渡邊健夫  
授賞対象課題: EUV レジストの開発
  - ・ONSA 奨励賞(基礎研究部門) 大阪市立大学 大学院理学研究科後期博士課程(現在は京都大学大学院理学研究科 研究員) 松本圭司  
授賞対象課題: チャバネアオカメムシにおける光周性の神経内分泌機構

### 議案の決議事項

第1号議案「平成 27年度事業報告(出納面)」(平成 27年度貸借対照表(案)・公益目的支出計画実施報告書(案)及び監査報告(案)等)

- a. 収入合計: 16,175,638 円(27年度予算比-118,362 円)
- b. 支出合計: 17,379,484 円(27年度予算比-368,516 円)
- c. 当期収支差額: -1,203,846 円(27年度予算比+250,154 円)
- d. 技術研究会開催収入が会費無料の学生、一般市民が増加して減収となった。  
会員が少し増えて会費収入と事業収入共に増収となり、予算上の当期収支差の赤字額が減少した。
- e. 指定正味財産の“ONSA 賞”は授賞者が計画 2名に対して、計画通り 2名を授賞し 217,090 円を執行した。  
指定正味財産の“ONSA 賞”の原資枯渇が心配されたが、会員から 200万円の寄付を新たに頂き、当面の心配はなくなった。先ほどの、当期収支差の赤字額が減少と共に良い話である。
- f. 監査結果の報告: 監事からの「適正」監査報告書及び友近公認会計士事務所の「適正」監査報告書を説明。第1号議案は決議された。

第2号議案「平成 28年度事業計画(案)・正味財産予算書(案)等」

- a. 事業計画内容: 研究調査受託収入の大幅減少が見込まれ、縮小均衡型予算となった。内容はほぼ例年通り。予算上の赤字額は前年度より約 115万円減少させている。
- b. 会員サービスの充実: 会員の獲得の基本は ONSA の事業が魅力的か、付加価値(費用対効果)があるかに掛かる。ONSA の事業を従来にも増して魅力的なものとして発展させ、会員数の増強を目指したい。  
この「会員が魅力的なもの」になるように、今年度は 2年前に作成した「会員ページ」を更に充実して以下の追加サービスを行う。  
「会員ページ」は会員サービスの向上を目指して、26年度の開始から 2年を経過して、内容の充実を図ってきたが、28年度は順次、更に下記の情報追加によるパワーアップを図り、会員各位の期待に応えたい。  
目的: 「温故知新」の観点から ONSA が保有し、会員へ紙ベースで配布済の研究会予稿集等の技術資料を電子情報化して、WEB から容易に検索・利用できるステージに乗せ、情報

の有効活用を図る。

特に、近年に中性子ラジオグラフィ（放射線透過試験）が対象物の長大化等で、同分野が見直されているために期待に沿いたい。また、原子炉の新規制基準適合や原子炉の長寿命化に伴う、機器・材料等の耐放射性調査も同様である。

追加の内容：従来約 19 年分の保有予稿集等を「会員ページ」で公開していたが、28 年度中に更に約 11 年分前の保有予稿集（下記一覧\*印が追加項目）を「会員ページ」に追加公開する。

追加の「会員ページ」の内容：（\*印が今年度追加項目）

研究会講演資料一覧

- ・放射線科学研究会(年 3 回)：平成 9 年度～平成 27 年度の 19 年分
- ・UV/EB 研究会(年 3 回)：平成 9 年度～平成 27 年度の 19 年分
- ・放射線利用総合シンポジウム講演資料(年 1 回)：平成 4 年度～平成 27 年度の 25 年分
- ・応用生体科学研究会：H9～H14 年度の 5 回
- ・材料科学研究会：H9～H10 年度の 4 回

\*中性子ラジオグラフィ利用技術研究会資料集：S61～H8 年度の 11 年分

\*耐放射性機器・材料データベース研究委員会調査報告書：S61～H8 年度の 11 年分

\*先端放射線利用技術研究会：H2～H8(年 3 回)年度の 7 年分

閲覧可能論文数：A4 サイズで約 7,000 ページ

この報告書の内容を検索するには、yahoo や google(yahoo と同一エンジンを使用している)ので、検索機能を使用して、「大阪ニュークリアサイエンス協会」又は、「ONSA」と検索目的語、例えば「放射線架橋」の二重検索を行うと、目的論文が発見できる。

- c. “ONSA 賞”：今年度 22 万円の予算執行を計画。このペースで毎年予算を執行すると、約 5 年間は継続できる。
- d. 経常収益：16,113,000 円（前年予算比-181,000 円）。
- e. 経常費用：16,413,000 円（前年予算比-1,335,000 円）。
- f. 当期収支差額：-300,000 円（前年予算比+1,1154,000 円）。
- g. 新規事業：大阪府立大学放射線研究センター開発の「高性能ペルチェ冷却霧箱」（@約 3.5 万円）の受託販売を推奨し、拡販する。（追記：28.6.22 現在、既に 2 セットの販売実績）

第 2 号議案は決議された。

第 3 号議案「定款一部変更の件（案）」

- a. 第 3 章 会員総会（開催）第 15 条の「会員総会は、定時会員総会として毎年 5 月頃に 1 回開催する。」。

第 3 号議案は具体的に「営業年度末日の翌日から 3 か月以内」と記載するものである。実質的には、定時会員総会開催時期に約 1 月余裕が出る。第 3 号議案は決議された。

第 4 号議案「任期満了に伴う役員選任に関する件（案）」

内容は役員の任期満了に伴うもので、この総会議案では役員候補者から「理事」及び「監事」を選任して、総会の直後に開催する臨時理事会で理事の互選により「会長」「副会長」「専務理事」を選定する予定。第 4 号議案は決議された。

なお、この総会後に開催された臨時理事会で理事の互選により下記の「会長」「副会長」「専務理事」が選定された。新体制を以下に示す。

一般社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会 新役員平成 28 年度・平成 29 年度体制

会 長：豊松 秀己 関西電力株式会社 取締役副社長

副会長：遠藤 芳文 三菱重工業株式会社 執行役員関西支社長

副会長：山口 多賀司 非破壊検査株式会社 社主

副会長：谷口 良一 公立大学法人大阪府立大学地域連携研究機構放射線研究センター  
長

専務理事：義家 敏正 一般社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会

理 事：遠藤 睦雄 一般財団法人電子科学研究所 監事

理 事：川上 勇 大阪府元出納長

理 事：岸田 哲二 株式会社原子力安全システム研究所 顧問

理 事：溝畑 朗 大阪府立大学名誉教授

理 事：中山 明 住友電気工業株式会社 研究開発本部 研究企画業務部大阪企画グル  
ープ主席

理 事：仁木 三夫 仁木工芸株式会社 取締役東京支社長

理 事：美濃 由明 一般財団法人大阪科学技術センター 専務理事

理 事：前田 豊 京都大学名誉教授

理 事：横野 泰和 ポニー工業株式会社 代表取締役社長

理 事：齋藤 巖 関西原子力懇談会 事務局長

監 事：路熊 駒三 非破壊検査株式会社 特別顧問

監 事：辻本 忠 NPO 安全安心科学アカデミー(仮認定 NPO) 理事長

以上で定時総会を終了した。

#### ONSA 賞授与式

続いて、同会場で ONSA 賞授与式を開催した。

豊松秀己会長が下記の授賞者に表彰状と副賞を授与した。

- ・ ONSA 賞（応用研究・開発部門）兵庫県立大学高度科学技術研究所所長 教授 渡邊健夫
- ・ ONSA 奨励賞（基礎研究部門）大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程 松本圭司

#### 交流会

続いて、別室にて、参加者 34 名による交流会を開催した。交流会は、豊松秀己会長の開会の挨拶、谷口副会長の乾杯の発声に続いて和やかに開催した。途中で大嶋前専務理事の挨拶があり、12 年の思い出が述べられた。会員各位、参与の皆様、ONSA 賞授賞者を交えて有益な交流会を滞りなく終了することが出来た。これも偏に会員各位のご協力の賜物と、ここに厚く御礼申し上げます。



総会のスナップ



ONSA 奨励賞受賞者松本氏と会長



ONSA 賞受賞者渡邊氏と会長



交流会のスナップ